

# **GIGAスクール構想のもとでの 総合的な学習の時間の指導について（小学校）**

# 総合的な学習の時間の指導においてICTを活用する際のポイント

## 学習指導要領との関連 (小学校学習指導要領 第5章 第3の2(3))

**探究的な学習過程**においては、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切かつ効果的に活用して、情報を収集・整理・発信するなどの学習活動が行われるように工夫すること。その際、コンピュータで文字を入力するなどの学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作を習得し、情報や情報手段を主体的に選択し活用できるよう配慮すること。

## ICT活用の特性・強み (「2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会」最終まとめP13)

- ①多様で多量の情報を収集、整理・分析、まとめ、表現することができ、カスタマイズが容易であること
- ②時間や空間を問わずに音声・画像・データ等を蓄積・送受信でき、時間的・空間的制約を超えること
- ③距離に関わりなく相互に情報の発信・受信のやりとりができるという、双方向性を有すること

## 学習の質を高めるポイント

- ①課題の設定・・・グローバルな課題、ローカルな課題、情報の蓄積による個に応じた課題設定が可能
- ②情報の収集・・・多様な情報、多量な情報、最新の情報、加工しやすい情報を、いつでも、どこでも、素早く、手軽に調査し収集することが可能
- ③整理・分析・・・デジタルデータを検索、分析するなどして情報を再構成したり、プログラミング的思考を育成したりすることが可能
- ④まとめ・表現・・・校内のみならず、国内外への多様な発信、手軽な制作と加工の繰り返し、成果物の継続的な蓄積が可能

